

復興大学災害ボランティアステーション主催シンポジウム

震災復興・地域再生と学生ボランティアの役割

東日本大震災から3年を迎えようとしている被災地では、仮設住宅から復興住宅へ、被災者の居住環境が大きく変化しつつある。そうした状況において今後、要援護者の見守りなど生活支援の面で、学生ボランティアの中長期的な取り組みが求められることになるだろう。そして、津波による海岸線の破壊と原発事故にともなう風評被害によって問題化した、農業・漁業など第一次産業の再生においても、学生ボランティアの果たす役割は大きくなりつつある。このように、東日本大震災からの時間経過とともに、学生ボランティアの役割も転換期を迎えている。

だが、学生ボランティアが果たす役割は、東日本大震災の被災地にとどまるものではない。日本列島は毎年のように集中豪雨・台風が直撃し、都市か地方かを問わず、甚大な被害に見舞われている。少子高齢化・人口減少が加速している地方圏では、社会の存続そのものが見通せないケースも少なくない。そうした状況の中で、学生ボランティアは地域をフィールドとして、どのような活動を担ってきたのか／担うべきなのだろうか。そして、地域社会のただなかに立地する大学は、どのような役割を果たしてきたのか／果たすべきなのだろうか。

阪神・淡路大震災と東日本大震災——この2つの大震災は、以上のような原理的な問いを私たちに投げかけている。

12/13

金

メイン会場／
東北学院大学8号館5階
押川記念ホール

1日目

11:30~13:00

ポスターセッション・パネル展示
(8号館3階 第1・2会議室)

13:00~13:10 開会

開催校挨拶／松本 宣郎(東北学院大学学長)
来賓挨拶／谷 公一氏(復興庁副大臣)

13:10~14:20 基調講演

「これまでの3年、これからの3年
~どう生かす、KOBEの教訓」

山中 茂樹氏(関西学院大学災害復興制度研究所教授)



14:20~14:30 休憩

14:30~15:30 学生フォーラム①

「東日本大震災と学生ボランティア」

報告者

早稲田大学、宮城学院女子大学、
東北学院大学の学生(予定)

コーディネーター

菊地 竜生氏(仙台市市民活動サポートセンター センター長)

15:30~15:40 休憩

15:40~17:30 市民フォーラム①

「転換期における生活支援と産業再生」

報告者

橋本 泰典氏(全国コミュニティサポートセンター 被災地生活支援部門 石巻地域グループ長)
押田 一秀氏(相馬はらがま朝市クラブ 理事)
佐藤 正実氏(20世紀アーカイブ仙台 副理事長)

コーディネーター

齊藤 康則氏(東北学院大学経済学部准教授)

12/14

土

メイン会場／
東北学院大学8号館3階
第3・4会議室

2日目

9:15~11:30

学生フォーラム②

「全国各地における学生の取り組み」

報告者

東北福祉大学、桜美林大学、北陸学院大学、
名古屋学院大学、立命館大学、西南学院大学の
学生(予定)

コーディネーター

関西学院大学、東北学院大学の学生(予定)

11:30~13:00

ポスターセッション・パネル展示／休憩
(8号館3階 第1・2会議室)

13:00~14:50

市民フォーラム②

「大学と地域社会の新たな関係づくり」

報告者

早川 敏氏(仙台市社会福祉協議会)
森河 亮氏(広島修道大学法学部准教授、ピア・カウンター教員)
松本 真理子氏(中央大学ボランティアステーション ボランティアコーディネーター)

コーディネーター

阿部 重樹氏(東北学院大学経済学部教授)

14:50~15:00 閉会

「大学間連携災害ボランティアネットワークの
常設化に向けた宣言」

郭 基煥

(東北学院大学経済学部教授、同大学災害ボランティアステーション所長)

【問い合わせ先】

復興大学災害ボランティアステーション

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1 東北学院大学 土樋キャンパス 大学院棟2階26教室

TEL:022-264-6522 FAX:022-264-6523 (受付対応時間:平日 11:00~16:30)

MAIL:revolu@tscc.tohoku-gakuin.ac.jp

ホームページ:https://www.fukukou-daigaku-volunteer.jp/

